

としょかんぽう

Tohoku Fukushi University Library News

36



研究余瀝（教育学科中等教育専攻准教授 富樫進）

学術雑誌の知られざる世界（図書館 八巻千穂）

図書館と困りごと（図書館 堀慧子）

鼎ダ〜ン 第2回（TFUKŌhōWG）

“図書館”は生きている（図書館 八巻千穂）

カフェろっけんしょう 2（図書館 菅原裕生）



100 年前のキャリアデザイン

大正期における曹洞宗第二中学林卒業生たちの進路をめぐって

教育学部 教育学科(中等教育専攻)

准教授 富樫進



本学図書館1階書庫に『教友』(第 11 号までは『教友会雑誌』)と印字された合冊が 3 点ある。これは、本学の前身にあたる曹洞宗第二中学林の学生団体・教友会発行の雑誌で、明治 36(1903)年刊行の第1号から昭和 11(1938)年刊行の第 38 号までの存在が確認できる(本学図書館では、24・25・32-34 号を除く各巻を所蔵)。

うち、大正 11(1922)年3月刊行の第 19 号には附録として「同窓名簿」が収録され、明治 37 年7月卒業の第一回卒業生4名から大正 10 年度卒業の第十八回卒業生 15 名に至る計 323 名の住所や職業・進学先が列記されている(表1・2参照)。

今年(2022 年)は、『教友』第 19 号の刊行からちょうど 100 年目に当たる。そこで、今回は私たちの大先輩にあたる第二中学林の卒業生たちが主にどのような分野で活躍していたのか、当時の社会情勢をふまえて、その一端を概観してみよう。

職種のうちで多いのはやはり僧職だ。「住職」「監寺」となった 96 名のほか、寺院居住の 72 名を加えると 168 名となり、卒業生総数から職種不明者(消息不明・死亡含む)47 名を除いた 276 名のうち約 61%、168 名に布教師(12 名)曹洞宗職員(1名)とを加えると約 66%を占める。

一方、数は少ないものの福祉との関わりで注目されるのが「感化院」に奉職する卒業生の存在である。

明治維新以降、殖産興業と富国強兵の強力な推進に伴う賃金労働者の酷使、相次ぐ天災や凶作、不況によって都市部を中心に貧困層が増大し、そのしわ寄せが棄児・身売りなどのかたちで未成年へと及ぶようになっていく。そこで、政府は明治 33(1900)年に感化法を公布、各道府県に公立の感化院を設置し、原則として満 8 ～16 歳の孤児や非行少年を收容することとした。

永平寺とならぶ曹洞宗の大本山・総持寺を擁する神奈川県には、明治 36(1903)年に感化院「神奈川県薫育院」が設置された。大正 3(1914)年に貫首・石川素堂(1841-1924)が県議会からの委嘱により同院院長に就任したのを機に、総持寺

では境内に薫育院出張所を設置したり、仏教による感化教育を目的として神奈川県少年保護会を設立したりするなど、児童や青少年の保護・教化善導に力を注いでいく。

「同窓名簿」によると明治 42(1909)年度卒業生の春山諦従が神奈川県薫育園(現、大磯町)に(※登米郡米谷村・東昌寺住職を兼務)、大正2(1913)年度卒業生の原田留吉が神奈川県国分村感化院(現、海老名市)にそれぞれ奉職しており、両名とも、石川の薫育院院長就任以降に展開した総持寺による青少年福祉事業の影響を受けた可能性が考えられる。

薫育院教師と東昌寺住職とを兼務した春山のように、当時、教師と住職(僧職)とを兼務した卒業生は珍しくなく、小学校教員(訓導)18名のうち少なくとも8名、および私立学校教員はいずれも住職との兼務であった。

明治初年、キリスト教に対抗するとともに三条の教則(敬神愛国・天理人道・皇上奉戴)を国民に教化するために設けられた「教導職」に僧侶が積極的に任命されたという経緯からも、僧職と教職とは親和性のある職業であったと考えられ(※教導職は明治17年に廃止)、大正10年度卒業生からは恐らく小学校教員の資格取得を目的として、仙台師範学校・宮城師範学校・福島師範学校へ各1名ずつが進学している。

卒業生の中には当時の第二中学林教職員 4名(中幡義堂教頭・平井龍三教授・加々美環明寮監・白石玄浄副学監)の名が見えるが、彼らも皆、住職を兼務していた。

海外では、台湾在住の僧職者4名の存在が注目される。

曹洞宗は当時、台湾への布教に積極的で、各地に設置された布教所(説教所)では現地人対象の布教に加えて日本人移民のための葬儀や法要、さらには婦人会や夜学校・日曜学校のように、地域コミュニティーや政治経済の実情をふまえた幅広い宣教活動が行われていた。彼らは台北・基隆・新竹といった主要都市の最前線にて、新進気鋭の布教者としての期待を一身に担いつつ布教活動に勤しんでいたであろう。

● ● ● ● ● ● ● ●
本学図書館所蔵
『教友』第19号
(『教友会雑誌』の継続後誌)
● ● ● ● ● ● ● ●



表 1:住所

道府県	人数
宮城県	86
山形県	65
東京府	29
秋田県	22
岩手県	21
北海道	17
福島県	13
新潟県	6
青森県	5
神奈川県	5
千葉県	3
三重県	2
愛知県	1
群馬県	1
滋賀県	1
鳥取県	1
兵庫県	1
和歌山県	1
台湾	6
朝鮮	1
死亡・消息不明	34

表 2:職業

職種	人数 (延べ)
住職・監寺	96
僧職(に就いていると思われる者。「住職・監寺」を除く)	72
学生	49
教員	34
布教師	12
官吏	16
軍人	10
民間人	9
曹洞宗職員	1
不明(消息不明・死亡含む)	47

官吏

鉄道省(6)・台湾総督府(2)・朝鮮京畿道庁・内閣書記官室・警視
庁・逓信局・神戸税関・北海道小樽区・神奈川県国分村感化院・宮
城県本吉郡柳津町・山形県北村山郡福原村

最終卒業校(在学中の者含む)

曹洞宗大学(93)・東京帝国大学(10)・東洋大学(5)・早稲田大学
(4)・日本大学(3)・中央大学・第二高等学校・花園臨済学校・越中
島商船学校・仙台高等工業学校・仙台師範学校・宮城師範学校・福
島師範学校

【参考文献】

- ・駒澤大学開校百二十年史編纂委員会(編)『駒澤大學百二十年史』(駒澤大学, 2002 年)
- ・松金公正「植民地時期台湾における日本仏教寺院及び説教所の設立と展開」
(『台湾史研究』16, 1998 年)
- ・同 「曹洞宗布教師による台湾仏教調査と「台湾島布教規程」の制定
——佐々木珍龍『従軍実歴夢遊談』を中心に」(『比較文化史研究』2, 2000 年)
- ・山本林(編)『梅檀学園臺百年史』(梅檀学園, 1974 年)
- ・吉田久一『改訂増補版 日本近代仏教社会史研究(吉田久一著作集5)』(川島書店, 1991 年)
- ・吉田幸恵「社会的養護の前史——明治期における児童救済事業の展開」
(『人間文化研究(名古屋市立大学大学院人間文化研究科)』17, 2012 年)
- ・社会福祉法人諸岳会「諸岳会について」
<https://www.shogakukai.jp/about/>(2022 年5月 27 日アクセス)
- ・神奈川県立おおいそ学園「おおいそ学園の概要」
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/t5f/cnt/f450049/index.html>
(2022 年5月 27 日アクセス)



『協友会雑誌』!? 『教友会雑誌』!?

書誌を
めぐる
小噺

今回、富樫先生が調査で使用した資料『教友会雑誌』のデータについて。

資料のデータ、例えばタイトルや著者、出版社情報などを書誌データといいます。これらのデータは、全国の主に大学図書館で分担して作成し、共同で利用しています。

実は、上記の資料の共同の書誌データには、『協友会雑誌』となっており、書誌データを作成した図書館に『協友会雑誌』ではなく『教友会雑誌』ではないですか?」との問い合わせをしました。数日後帰ってきたメールには、『教友会雑誌』だったという報告と、書誌データを修正したとのお知らせが届き、無事に『教友会雑誌』へと変更されたのです。

めでたしめでたし♪

図書館 八巻千穂 4

学術雑誌の知られざる世界

学術雑誌と聞いて、まず頭に思い浮かべるのはどんな光景だろう。いわゆる冊子体と呼ばれる紙の資料？それとも形のない電子版だろうか？学術雑誌の昨今の様子を少しだけご紹介しよう。

令和 3 年学術情報基盤実態調査による大学図書館資料費の推移をみると、図書館資料費における電子ジャーナル(EJ)の割合が約 46%、冊子体が 14.7%となっており、電子が紙を凌駕している状況がうかがえる。また平成 22 年の資料費における EJ の割合が約 29%なので、10 年で 1.6 倍程度になっており、学術雑誌の主流は EJということになる。しかし、和雑誌の場合、医療分野は積極的に電子化を進めている状況はあるものの、まだまだ紙が主流である。ということは、上記の資料費の割合から見てくるのは、電子化された外国雑誌の価格の問題だということがわかるだろう。

外国雑誌は、冊子体にしても EJ にしても毎年の値上がりは必須である。昨今は平均して 5%前後の値上がりが見込まれ、ある出版社の製品は 10%近く価格が上昇する。また、レートの変動に左右される点も和雑誌とは大きく異なるところで、円安の場合は通常の値上げに加えて、価格の上昇率が増すのである。

では、毎年 10%近い価格上昇の波を受けるのか！というと、電子の場合強い味方が存在する(全タイトルに該当はしないが…)。それは、大学図書館コンソーシアム連合=JUSTICE である。電子リソースに係る外国出版社(国内出版社もあり)との購入や利用条件交渉などを一元化して行っているため、スケールメリットを生かすことで JUSTICE の会員館(本学も会員館)は価格の上昇抑制など、安定した契約を維持できるのである。まさに正義！みんなの JUSTICE なのである。

‘情報にはお金がかかる’のはもはや常識。FX をやっているわけでもないのに、レートの変動が常に気になる！それが大学図書館の雑誌担当者の知られざる‘あるある’なのである。

図書館 八巻千穂

図書館と困りごと

図書館が日々困っていることを紹介しよう！

赤字のところだけでも
読んでほしい!!

まずは延滞！これはもう、本当に返してくれ。ちなみにだいたいの図書館員は延滞について「返してくれ～」としか思っていない。利用者にはいろいろ事情があるだろう。なので、図書館員は延滞について困っているだけで別に怒っていないことが多い。返してくれればそれでいいのだ。**だから、返してくれ。**

怒っていないと言ったが、督促に応じないなら話は別だ。督促というのは、「期限が過ぎているので返してくれ」という連絡のことだ。図書館員と相対するのが気まづいなと思ったら、図書館の入口と教務課の前に**返却用のポスト**があるので是非活用してほしい。そこに入れるだけでいいのだ。なんらかの事情(見つからない、体調不良等)で返却できない時は電話かメールしてくれれば相談にのります。よろしく。

次に紹介するのは香り！たまに返却された本から**何かの匂いがする**ことがある。香水のような芳香剤のような。本の消臭はかなりの時間と労力を要する＆完全には消えないことが多いので、図書館ではかなり困る問題の一つである。また、匂いのするものとは液体なことが多いので水濡れを併発していることが多い！「ページをめくる度にいい匂いがしたら素敵♡」的な気持ちでなにか匂いのするものをかけるのは本当にやめてね。ちなみに本学図書館ではあまり学生が水濡れをさせないので**すごいと思っている**。私が公共図書館で勤務していた時は、雨の日に駐車場から図書館の入り口まで本をむき出しのまま手に持って歩いている利用者がたくさんいた。ひどい人は本を傘替わりに頭上に掲げていたりして、これには温厚な図書館員(私)も激怒である。



みなさんも、図書館の本は雨に濡れないようカバンに入れ、飲み物をこぼさないよう気を付け、たとえページが破れてしまってもセロテープは絶対に貼らないで、重要な文章でもマーカーでライン引かないで、著者への文句を書き込まないで、付箋は糊が残るので貼らないで、ペットに噛まれないよう置く場所に注意して返却期限を守って利用しましょう。あと、事故とか犯罪に巻き込まれて本を紛失した場合も、手続きは落ち着いてからでいいけれど、連絡だけは早めにしてね。図書館からの督促を無視し続けて2年くらいたってから言われても…困っちゃうから。

図書館 堀慧子



第2回

カプセルトイの思ひ出

ダイジェスト版

カプセルトイをやったことはありますか？カプセルトイご存知ない？お金を
入れてハンドルを回すとカプセルに入
った玩具とかがでてくるアレ。OK？

コロナ禍でも客足が途絶えず売り上
げが爆増中らしく、事実街中では次々
に新店がオープンしているようです。カ
プセルトイの歴史は古く、我々が子ども
の頃にはすでに身近なものでした。た
だし、今のようにアニメや漫画のキャラ
クターものやクオリティの高い雑貨と
かではなく、小さいバケツに入ったスラ
イムとか火薬をセットして地面に投げつ
けると大きな音がする手榴弾とかでし
た。もちろん 100 円です。

現在は多様な商品があり、明らかに
大人向けだろうという商品・価格のも
のがありますね。そんな企業の思惑に
ガッチリはまった大人が我々です。
SNS で新作&入荷情報をチェックし事
前に両替を済ませ、挑みます。



子金治

土偶とカプセルトイが好き



コイケ

ポーチとカプセルトイが好き



ゆにこ

当日は体調不良で欠席した
が、合成された。

今回は、メンバーが 1 名体調不良で
当日欠席したため後日のインタビュー
と合成の部分もあります。いつでも誰
でも体調不良の時は休みましょう。な
んとかなるものです。

とあるショッピングセンターのカプセ
ルトイ専門店で実際の商品を見ながら
鼎談を進めました。



子金治

最近のはクオリティが高いよ
ね。普通に使えるものだったり。



コイケ

ポーチとか。



ゆにこ

絵本や文庫本の装丁そのままのポーチとか人気みたいですね。



コイケ

アニメや漫画のキャラクターものより、そういうグッズの方が好きです。



子金治

仏像のミニチュアとかもいいよね。フィギュアより手軽だし、本物そっくりだし。



コイケ

昔って無許諾っぽいパロディ商品たくさんありませんでした？



ゆにこ

私、子どもの頃「コスモス」という会社のカプセルトイをよくやった記憶があるんですが、その会社もいろいろ...



コイケ



子金治

あちゃー



子金治

昔は本当に著作権に関して無頓着だったんだろね。



コイケ

なんとなく愛嬌で許される雰囲気がありましたよね。



ゆにこ

今だったら即炎上ですね。



子金治

著作権自体、一般の人にはあんまり周知されていないよね。



コイケ

ニュースでもさほど取り上げられないですね。



ゆにこ

SNS を見ても怖い時があります。

こんな会話をしながら、このコイケは 1900 円...

web につく... にも力...

完全版は図書館の HP で見てね... だ。これが大人の財力だ。



“図書館”は生きている!?

司書を知ること、図書館を知ることになるのか？反対に、図書館を知ること、司書を知ることになるのか？‘Egg first or chicken first’図書館と司書は表裏一体、表と裏をとちょっと覗いてみましょうか。

文部科学省「社会教育調査」によると、2018年の図書館職員数は4万1336人、その内司書は2万130人と、図書館で働く約半数が司書ではないということ。ん？と思ったでしょ？ではいったい司書とは？

まず、司書資格を取得したものを司書といいます。資格取得にはいくつかの方法がありますが、司書養成課程のある大学・短期大学(2019年には199校あり)で、司書養成科目を修めて卒業する方法を見てみよう。司書資格の取得のための試験はなく、文部科学省が定める「図書館に関する科目」の必修科目の基礎科目・図書館サービスに関する科目・図書館情報資源に関する科目と、選択科目の13科目24単位を取得すれば、卒業と同時に司書資格を得ることができます。

図書館の種類は様々ありますが、公共図書館は社会教育施設の一つであるため、基礎科目には「生涯学習概論」が含まれていますし、図書館サービスに関する科目では、情報や児童に関するサービスの専門的な「講義」や「演習」を学習します。さらに図書館は資料を含む情報を提供する施設であるため、情報資源についてもしっかり学びます。また選択科目の中には「図書館実習」もあり、現場での経験も積むことができます。ちなみに本学では「図書館実習」を履修すると、仙台市内の図書館で4日間の実習をすることができるんですよ。

図書館は、情報・サービス、プラスそれを支える司書を含む図書館スタッフが三位一体となり、図書館との表裏一体を実現しているのです。インドの図書館学の父と呼ばれるランガナタンの有名な言葉をかりると、まさに‘図書館は成長する有機体’であるのです。

図書館 八巻千穂

世の中に存在する文学賞は数知れず。芥川賞に直木賞、ノーベル文学賞やブッカー賞と様々である。そこで、私たちに身近な東北という地域に根差した文学賞を数回にわたり紹介しようと思う。今回はその2回目である。この機会に‘腕試し’なんていかがでしょうか？



「ひろすけ童話賞」



「ひろすけ」とは、「日本のアンデルセン」とも称される童話作家「浜田広介」のことである。広介は山形県高畠町の出身で、数多くの童話や童謡を創作し日本児童文芸家協会の初代会長でもあった。そんな広介の偉業を称え、1990年に「ひろすけ童話賞」は創設された。賞は、1年間に出版された幼年童話から新しい童話世界を創設する優れた作品に贈られており、授賞式は高畠町にある「浜田広介記念館」にて行われている。

今年も6月初旬より第32回の作品募集が始まっているが、広介の代表作といえる『泣いた赤鬼』や『りゅうの目のなみだ』のように、やさしさと思いやりが溢れ後世へ語りつがれる作品が生まれているかもしれない。

「宮沢賢治賞・イーハトーブ賞」



「宮沢賢治賞・イーハトーブ賞」は、1990年に宮沢賢治の故郷である岩手県花巻市のふるさと創生事業として創立された。『風の又三郎』や『銀河鉄道の夜』『雨ニモマケズ』など独創的な童話や詩を残した賢治の名において研究や評論、創作を行った個人または団体を顕彰している。第1回は、染色家の柚木紗弥郎氏の『画集宮沢賢治遠景』を含む画業で、第24回には、日本を代表する影絵作家であり『画本風の又三郎』など賢治の作品を多数影絵にしてきた藤城清治氏が選ばれている。

なお、「イーハトーブ賞」は文学賞ではないが、賢治の精神を体現する実践的な活動を行った個人または団体を顕彰しており、過去には高畑勲や三陸鉄道株式会社などが受賞している。

図書館 菅原裕生

～編集後記～

3月に発生した地震の影響で年度末から年度初めは利用に制限がありご迷惑をおかけいたしました。現在も大閲覧室の一部の学習席が利用不可となっておりますがご容赦ください。この地震の後始末をまとめたものを「としょかんぼう第35号」としてHPで公開しています。地震後、休館を余儀なくされた図書館で図書館員がどのような作業をしていたのかがわかります。これはここだけではなく、どこの図書館でもほぼ同じ作業をしたはずなので、図書館業務に興味のある方は必読です。HPでは読みにくいという方は館内に冊子がありますので、こちらをご利用ください。ちなみに、河北新報ONLINENEWSで書店での復旧作業についての記事が5/13付で発表されていましたが、やはり店員さんが力を合わせてとのことでした。書店の皆様もお疲れさまでした。



今号では富樫先生からご寄稿をしていただきました。この「研究余瀝」という特集は前号で鍛代先生から始まったものです。今号では富樫先生が引き受けてくださったおかげで、第2回目と続けられました。論文よりも文字数が少なく、その分野に詳しくない学生でも少しがんばれば読める軽めの雰囲気を書いていただいております。字数を少なくし内容を保持したまま読みやすくすることは大変なことだと思います。ご協力感謝いたします。このように当『としょかんぼう』は教員の協力なくしては成り立ちません。ということで、先生方！もし、こういう内容なら書けるよという方はぜひお声かけください。1ページに約700字入るので、700字もしくは1400字が大歓迎です。

昨年からリニューアルした『としょかんぼう』、毎号手探りでよいカタチを探っています。今号はフォントを「BIZ UDPゴシック」にしてみました。UDはユニバーサルデザインのことで、前号と比べて読みやすさはいかがでしょうか。本文の方でも言及されていましたが、図書館界では、「図書館は成長する有機体である」という有名な言葉があります。『としょかんぼう』もこれまでのカタチに囚われずよりよい方向に成長し続けられるよう試行錯誤していきたいと思います。鼎談全文や第35号をweb公開限定にしたのもその試みの一つです。今号のHP限定公開鼎談全文はスマートフォンで見やすいようにフォントサイズとレイアウトを変更しています。ぜひお楽しみください。（図書館 堀慧子）



としょ
かんぼう



図書館 HP